

萩 ネットワーク

第40号 2001年 7月

発行：萩ネットワーク協会

〒758-8555 山口県萩市大字江向510 萩市役所広報課内

T E L 0838-25-3131 F A X 0838-26-5458

萩市ホームページ <http://www.urban.ne.jp/home/hagicity/>

—萩市で日本海の海の幸を釣る！—

美しい街並みの向こうにおだやかな海が広がる萩市でトラフグ、メジナ、マダイと日本海ならではの魚たちを、ハマちゃん&スーさんが思いきり釣りまくる！

萩市を舞台にした、松竹の看板シリーズ映画「釣りバカ日誌12」が、いよいよ8月18日から全国松竹系劇場で公開されます。この映画は、3月に平安橋、菊ヶ浜、田町商店街など萩市内でロケが行われ、エキストラとして多くの市民も出演しています。ぜひ、ご覧ください。

8月18日

全国一斉公開



萩市堀内の長屋邦彦さん宅前

夏のイベント 萩夏まつり、伝統行事など	P 2
萩焼400年展、HAGI世界映画芸術祭	P 3
萩400年の物語、第4回（北村知紀）	P 4～5
ズームアップ【廣澤洋子氏】	P 5
萩三隅道路、浜崎地区が伝建保存地区に	P 6
萩国際大学	P 7
同窓会だより	P 8
リレーエッセイ橋【出羽修氏】、萩の足跡	P 9

目次

山口きらら博「萩市の日」	P 10
帰ってこいよ！ふるさと事業、クルーズ時代	P 11
夢追人【三輪華子さん】、下瀬信雄写真館	P 12
縄文秘酒・松野龍司	P 13
県立萩美術館・浦上記念館から	P 13
情報アラカルト、出版情報	P 14～15
幕末・維新こぼれ話 中嶋治平(5)（樋口尚樹）	P 16
トピックス 高田賢三の萩焼陶板	P 16

海があるから・・・ 萩の夏にはドラマがある。



全国的に梅雨入りし、萩市でも蒸し暑い毎日が続いています。また、近年では、晴れた日のアスファルトの照り返しなどにより体感温度は高くなる一方ではないでしょうか。

こんなとき、海があるまちに生まれてよかったと改めて実感します。
海のある地元萩で、灼熱の日常生活から抜け出ませんか？

萩ヨットレース2001

今年も日本海での大ヨットレースを開催します。皆さんも船上で応援しませんか。

とき 7月15日(日) 午前9時50分～午後5時

ところ 菊ヶ浜沖

○観覧船

乗船場所 マリーナ萩(後小畑)

出港時間 ①午前9時30分 ②午後1時30分

※出港時間の30分前までに集合してください。

観覧時間 約1時間

乗船料 無料



※3歳未満児は乗船できません。
問い合わせ 萩市観光課内萩ヨットレース実行委員会(0838・25・3139)

県内最大 萩・日本海大花火大会

○萩・日本海大花火大会

とき 8月1日(水) 午後8時～9時

※荒天の場合、4日に延期します。

ところ 菊ヶ浜周辺(海上から8000発の打ち上げ)

○萩夏まつり

とき 8月1日(水)～3日(金)

ところ 菊ヶ浜(花火、住吉神社、田町商店街、吉田町)

主な催し

【1日】萩・日本海大花火大会

【2日】市民総踊りヨイショコシヨパレード、サンバヨイショコシヨパレード

【3日】各種広場、ステージ、のんだ大提灯パレード、お船謡、住吉みこし

問い合わせ 萩商工会議所(0838・25・3333)

砂の芸術祭

北長門海岸国定公園の指定を受けている菊ヶ浜海水浴場で、今年17回を迎える砂の芸術祭が行われます。

年々、参加者の増加と作品レベルの向上で、盛り上がりを見せているこの催しに、皆さんも駆けつけてみませんか。

とき 7月20日(祝)

【製作】午前5時～正午

【表彰】午後2時

ところ 菊ヶ浜海水浴場

その他 午後1時30分から、毎年子どもから大人までが白熱するビーチ宝探しを予定しています。

問い合わせ 萩市観光協会(0838・25・1750)



萩循環まあるバスを題材にした作品(昨年)

夏の伝統行事

住吉みこし

とき 8月3日(金) 午後6時～午前0時ごろ

コース 熊谷町・萩夏まつりおまつり広場(田町商店街・吉田町)・熊谷町・住吉神社(おあがり)

お船謡

とき 8月3日(金) 午前11時～午後11時30分

コース 浜崎町・熊谷町・春若町・呉服町・萩夏まつりおまつり広場(田町商店街・吉田町)・住吉神社

昇殿巫女の舞

越ヶ浜地区では、萩藩2代藩主毛利綱広のとき、宮島の厳島神社が勧請され、本社と同様に管弦祭が行われています。この管弦祭では、神輿を船にのせて海上パレードを行い、萩城潮入り門などで神楽を舞う伝統が残っています。このときに舞われる神楽が巫女の舞です。

とき 8月5日(日)・6日(月)

午後7時

ところ 越ヶ浜夕風港





チャン・イーモウ監督最新作

初恋のきた道



2000年
ベルリン国際映画祭
銀熊賞受賞
北京にできるかという思いの裏に、この映画はなまじりてある

第8回

HAGI世界映画芸術祭

中国・韓国映画との出会い

芸術性の高い映画の上映を通して映画文化の最先端に触れ、世界各国との文化交流を推進する「HAGI世界映画芸術祭」が今年も開催されます。

■上映スケジュール

【萩市民館】

8月17日(金)

▷19:00 「グリーン・デスティニー (120分、中国)」

8月18日(土)

▷10:00 「ヤンヤン夏の思い出 (173分、台湾)」

▷13:10 「花様年華 (98分、香港)」

▷15:10 「グリーン・デスティニー (120分、中国)」

▷17:30 「初恋のきた道 (89分、中国)」

8月19日(日)

▷10:00 「ユリイカ (217分、日本)」

▷14:00 「春香伝 (120分、韓国)」

▷16:30 「初恋のきた道 (89分、中国)」

【ツインシネマ (もとキラク)】

8月18日(土)・19日(日)

▷17:15、19:30 「ショコラ (121分、アメリカ)」

問い合わせ 萩市企画課内HAGI世界映画芸術祭実行委員会 (0838・25・3590)

❑スーさんが再び萩に!
この上映会では、スーさん役で第1作目から出演している三國連太郎さんと本木監督の舞台挨拶が予定されています。

②午後2時、
ところ 市民館大ホール(全席自由、1028席)
入場料 1300円(劇場用前売券)、3歳未満無料

三國連太郎さんを招いて

先行上映会

「釣りバカ日誌12」の全国一斉公開に先がけて、ロケ地の萩市で先行上映されます。
全国公開より1か月早い萩での上映会に駆けつけてみませんか。
とき 7月20日(祝) ①午前10時、

8月18日から一斉公開 前売券販売中

「釣りバカ日誌12」の全国一斉公開の前に、萩市内の関係団体が前売券を販売しています。
前売券は、全国の松竹系映画館で使用できます。また、先行上映会にも使用できます。

全国の方に、映画に登場する萩の風景を鑑賞していただくため、また全国公開が成功するように、チケットはぜひ地元萩で買い求めください。
前売券 1300円(当日一般1800円)
問い合わせ 萩市観光課内「釣りバカ日誌12」萩ロケ支援実行委員会(0838・25・3139)

伝統と革新

萩焼400年展

大好評開催中



会期 7月22日(日)まで午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで、休館日は毎週月曜日)
入場料 一般1100円、学生800円
※5月に開催された萩・大茶会の手茶券の半券は、入場料の特別割引券となります。
○邦楽の調べ(無料)
とき 7月8日(日) ①午前10時15分～11時 ②午後1時～1時45分

ところ 講堂
演奏者 邦楽アンサンブルやまぐち
○呈茶席(500円)
とき 会期中の土・日曜日の午前10時～午後3時
ところ エントランスホール
問い合わせ 山口県立萩美術館・浦上記念館(0838・24・2400)

萩・万灯会

毛利氏の菩提を弔うため、約500基の石灯籠に火が入ります。

【迎え火】

とき 8月13日(月)・14日(火) 午後7時30分

【送り火】

とき 8月15日(水) 午後7時30分

ところ 東光寺



神代の舞(風鎮祭)

この舞は、木間の若宮神社に150年前から伝わる、五穀豊穡を祈願する舞です。

太鼓、合わせ鉦、笛が奏でる5拍子の囃子に合わせて、木彫面を付けた地区内の長男が舞います。

とき 8月15日(水) 午後5時
ところ 若宮神社(木間)



萩400年の物語 第4回

苦難の日々、「もう大名をやめたい」



慶長5年(1600)、毛利氏は関ヶ原の敗戦により8か国領有を防長2国に減封されたが、すぐに萩築城にかかれたわけではない。本拠地・安芸をはじめ6か国を失い、既に徴収していたこれらの国の5年度分の貢租について新領主たちから返還を迫られる。そもそも、ほぼ4分の1に減った総石高でどうすれば家臣たちを養えるのか。ついに毛利輝元はパニック状態となり、「領有してもやってゆけないから、2国を幕府へ返上する」とまで言い出した。萩開府の前に、苦難の日々が続く。

6か国の返租迫られる 急先鋒の福島正則

6か国の既収租米の返還要求は、慶長5年11月、毛利氏が広島城を明け渡した直後から始まったようだ。新しく封じられた各地の大名と幕府領の代官たちが次々と求めてきた。総額はざっと15、6万石にもなる。

この人たちにとつても無ければ領国経営ができないのである。しかし、毛利側も合戦などで使つてしまい、無い袖はふれない。このため、翌慶長6年2月には早くも苛立つた安芸の新領主・福島正則から怒りの督促状が届く。

福島氏への返還額は7、8万石と最も大きく、正則はこの督促状を前年、関ヶ原の和平交渉で因縁をもった吉川広家・福原広俊宛に送り付けてきた。大意を要約すれば、

昨年、輝元ご身上のことで随分お世話をしたのに、この仕打ちはなんだ。早お忘れか。いくら返還を申し入れてもご返事が無い。拙者は余人とは違はずだ。急ぎ処置されよ。

いかにも直情の荒大名家らしく厳しい。しかも、これは正当な要求だった。なんと毛利側は督促状の着いた翌日すぐ返書を発している。「来月中旬に2万石を送ります。その余は秋の収穫を待つてください」

避けられない抜本的大リストラ

以後も毛利氏は正則の強硬な返還要求に悩まされている。それは「毛利三代実録」をみれば歴然である。同年4月23日の記述。
「是時八州俄に二州となり、国計減縮し理財の術極めて難し、之に加るに福島への償ひあり、益田元祥東西に奔馳し其艱難に任す」

立不可能となつていった。家臣団の大量クビ切りか。家禄の大縮減か。

1万8千余石の国人領主から4千石に減り、やってゆけず禄を捨て出奔した平賀一族の例がある。召放たれ(解雇、新領国へ付いていくのを諦め帰農した者、返租米調達のため給領地を売つたり質入しした者もいたといわれる。

黒田如水に領土返上を相談

主君も家臣も一人一人が決断を迫られ、覚悟を求められた。トップの苦悩が一番大きいのは言うまでもない。ついに毛利輝元は家康から与えられた防長2国を返上したいと言ひ出す。

「萩藩閥閥録」中の「益田牛庵覚書」が、当事者の一人として事件の様子を生々しく記録している。思い悩んだ輝元は益田元祥(牛庵は号)ら重臣2人を筑前福岡の黒田如水のもとへ相談にやる。黒田家の隠居・如水はかつて豊臣秀吉の天下とりを助け、かえつてその大才器を秀吉に警戒された軍師・官兵衛である。

輝元は「2国を返し、あとは自分ら父子がかつがつやつとける扶持がもたれれば」とまで言う。如水はこう諭したという。

たとえ2国を返上しても、既に取った租米は返納しなければならぬのだから、2国は抱えて返納に努めた方がいい。2国を抱えてさえあれば、何か才覚も生まれてくる。

如水の言葉を聞いた輝元は溜め息をつく。
「下々なら家産を捨てれば返納の身から逃れられるのに、殿様は逃れる所がない。唐天竺へも行かれば、身の置きどころはないのか」



6か国返租問題ですぐれた才腕をふるった
益田元祥。号牛庵。
(国の重要文化財「益田元祥公画像」)

痛みを分け合い、 忍びがたきを忍ぶ

なんとか思い止まった輝元は、改めて6か国返租問題の打開策を福原広俊らに探らせる。重臣たちは早朝から福原邸に集まり、3日間話し合が良策は出てこない。今夜一晩考えて書面にしてくることになったが、翌日、誰も書面を出せない。また昼になり、ついに自案を出したと「益田牛庵覚書」が語っている。

益田提案の趣旨は、引き続き毛利家の領国となった防長2国についても旧領主がそれぞれ主君輝元へ返租し、それを他の6か国の返租にあてるといふものだった。6か国返納の重荷をその地の旧領主たちだけに負わせず、皆で分かち合うというのだ。

この策はそれまで、誰も言い出さなかったらしい。いうまでもなく、8か国時代の防長の最大領主は、一時輝元の養嗣子になっていた長門宰相・毛利秀元だった。

そして、未曾有の危機をしのいだ大リストラ

萩光塩学院同窓会会長

廣澤洋子氏

(旧姓 長岡)

5月に萩光塩学院創立50周年を記念して、バロック音楽コンサートin萩を開催しました。11月には記念式典を行います。その準備や様々な自主活動に忙しい毎日ですが、それによって多くの出会いがあります。人や文化の接点に立ち、お互いが知り合う機会を作るのが自分の役回りだと思ふようになりました。



萩光塩学院内のマリア像の前で

▶毛利氏のあと安芸の新領主になり、強硬に慶長5年分の貢租米返納を求めてきた福島正則

同じ慶長6年7月には「福島^{ふくしま}の償^{かた}ひ客^{きやく}成^{なり}米^{こめ}大^{だい}に^に措^{そく}画^{かく}に^に苦^{くる}む」とある。

ここに記されているように、毛利氏の国家財政は6か国返租問題の前に、112万石が約30万石に縮まり、抜本的な大リストラなしには成

私の近況

今でも同窓会の関係などで1、2か月に1度は帰省しています。戻ってくる度、いろんな人に会えるのが楽しみです。

98年から北九州国際交流団体ネットワーク(65団体)という団体の代表を務めています。いろんなタイプの活動をしている団体が、何かあったときにまじまじとされるようニュースレターの発行や国際交流ボランティアの研修などをしていきます。

国際交流といっても、価値観、歴史、習慣などそれぞれ違います。お互いを尊重してつき合うためには、難しいことですが、「継続と信頼関係」が大事だと痛感しています。

何かイベントをする度、いろんな人を巻き込み協力してやっています。信頼関係があれば、いろんな流れが続いていきます。そういう流れをつなぐ役目を果たしていきたいと思っています。



毛利輝元が幕府への防長2国の返上を相談した黒田孝高。号如水
(「日本肖像大辞典」より)

萩の思い出

私は川崎で生まれました。小さい頃に父を亡くしたので、父の妹を頼って萩にきました。小学校は明倫で、中学、高校が光塩です。光塩に母が教師として勤めていて、自然に光塩に進学しました。同窓の人は、遠く長く離れていても、心が通じるものがあります。

萩の思い出といえば、小学生の頃に松本川の萩橋の下でジミをとったり、潜ったり、菊ヶ浜で泳いだりと、川や水に関するものが印象的です。その水の感触は今でも覚えていてます。

萩に期待する点

よそから見ると、維新の地であり進取・改革の気風がありますが、今は何となく停滞している気がします。一生懸命やろうとしている人を、あまり支援しない。これは山口県全体にいえることかもしれません。

文化活動にしても、萩ではやり

の眼目は、「毛利三代実録」が慶長6年末日に記している。「今年秩祿を群臣に賜^{たま}ふ。旧秩を五分にし、其一分を以て定額とす」
家臣は家禄・給料をわずか5分の1に減らされたのである。痛みと無念はそれぞれの家で語り継がれてゆくことになる。

郷土史家 北村 知紀 (つづく)

にくいという声を聞きます。もつと萩という地に誇りを持って発信すればいいと思います。
時間はかかりますが、協力してくれる人から交流の輪を広げていくことが必要だと思います。

プロフィール

昭和18年生まれ。萩光塩学院高校11年生。メルセス会の奨学金によりアメリカに留学。帰国後は、英語講師や通訳として活躍。また様々な分野の外国人アーティストを招き、展覧会やコンサートを企画・運営。

97年から同窓会会長。東筑紫短期大学講師も務める。北九州市在住。



バロック音楽コンサートin萩

2007年の一部通行可能を目標に

萩三隅道路 起工

6月9日に起工式



三隅町で行われた起工式で鉄入れをする野村萩市長ら

国道191号のバイパス機能をもつ自動車専用道路「萩三隅道路」が本格的に着工するにあたり、6月9日に起工式が三隅町で行われました。

「萩三隅道路」は、萩市三見から三隅町三隅中までの約9.5kmで、4車線で時速80kmでの通行が可能となります。完成すると萩市役所から長門市役所までの約37kmを、現行40分から10分短縮の30分で移動が実現します。また、三見と三隅のインターチェンジのほか、三見明石ハーパーキングエリアもできる予定で、三隅から明石までの7.1kmは、2007年ごろに2車線で暫定的に通行できることを目標にしています。

現在、萩・三隅間の国道191号の鎖峠では、高い崖やカーブが多く、冬季の積雪時には東西の交通が寸断されるほか、連続雨量が150mmを超えると全面通行止めになります。この道路が開通すると萩三隅の時間的距離が短縮するほか、異常気象時の通行確保も容易になるというメリットがあります。

この道路は将来的に鳥取市と美祿市を結ぶ総延長380kmの高規格幹線道路「山陰自動車道」に組み込まれる可能性が高いとされています。現在、島根県益田市から三隅町までの約55kmは予定路線となっており、周辺では基本計画区間の格上げを要望しています。



萩を拠点に高速交通ネットワークの形成を！

「萩三隅道路」、「山陰自動車」のほかにも、地域高規格道路「小郡萩道路」、県道「萩・津和野線」の早期整備が求められており、5月11日には、これから4つの期成同盟会が萩市で開かれました。

■地域高規格道路「小郡萩道路」
美東町から萩までの約30kmの自動車専用道路で、県央、山陽側までの所要時間短縮により大きな経済効果が期待されています。

■県道「萩・津和野線」
山口島根両県を代表する観光地、萩市と津和野町を結ぶ延長40kmの道路で、観光面のほかにも、沿線市町村の生活基盤や産業振興に期待されています。

市内3か所目の重要伝統的建造物群保存地区に「浜崎地区」を申請へ

萩市では、江戸時代の風情を残す浜崎地区の古い町並みを重要伝統的建造物群保存地区に選定するための作業が進められています。

9月には文化庁に申請し、選定されれば、堀内、平安古に次いで市内3か所目の伝建地区になります。また、全国的にも京都市の4か所に次ぐ規模となり、歴史の町萩の新たな観光名所にもなりそうです。



浜崎地区の町並み（浜崎おたから博物館より）

9月の申請で12月には選定される見通しで、選定後に地区の住民が建物の新築をする場合、国、県、市の補助を受け、景観に配慮した建築をすることになります。

浜崎地区は、江戸時代に萩城下の港町として回船問屋などの商家が栄え、格子の家並みが続くほか、国指定史跡「御船倉」など江戸時代の建物約40棟と明治・大正時代の建物約50棟が残っています。

申請を前に市では、浜崎地区に残る建物から104棟、石灯笼などの工作物72件、庭園15件を伝統的建造物に指定し、保存することになっています。

また、この地区の家々に伝わる、「お宝」も多く、5月に地元のおこし団体「浜崎しゅちる会」主催で「浜崎おたから博物館」を開催し、多くの市民や観光客で賑わいました。

萩国際大学 平成14年度新入学生募集

萩国際大学では、来年度の新入生を募集します。進学前の子弟をお持ちの皆さん、萩の大学を勧めてみませんか。

【国際学科】

異文化社会の深い知識と理解を持って、日本と世界とのかわりを的確に把握し、適切な行動ができる人材を育成

募集人員 140人

コース 比較文化コース、比較経済コース

【経営情報学科】

21世紀の新しい企業の経営システムおよびソフトウェア開発の創造能力と、経営政策を立案できる経営管理能力に長じた人材を育成

募集人員 160人

コース 情報コース、経営コース、会計コース

■選抜日程（両学科共通）

入試区分	選抜方法	出願期間	試験日	合格発表
特別選抜	小論文、面接、書類選考	10月15日～11月9日	11月18日(日)	11月23日
推薦選抜	指定校推薦	11月1日～11月13日	11月18日(日)	11月23日
	一般推薦	11月1日～11月19日	11月25日(日)	11月30日
一般選抜	前期日程	学科試験、書類選考	1月8日～1月25日	2月3日(日)
	後期日程	小論文、面接、書類選考	3月6日～3月25日	3月28日(日)
大学センター試験を利用する選抜	前期日程	学科試験、書類選考※萩国際大学の個別学力検査等は無し	1月15日～2月1日	2月20日
	後期日程		2月19日～3月11日	3月20日
社会人特別選抜	A日程	小論文、面接、書類選考	11月1日～11月19日	11月25日(日)
	B日程		1月8日～1月25日	2月3日(日)

問い合わせ 萩国際大学入試センター（0838・24・4000）

留学生97人が

萩国際大学へ入学

萩国際大学では、開学3年目を迎え、特待生制度の創設や編入学生の受け入れを行っています。また、市でも奨学金制度を創設するなど、新たな取組みを実施しています。

在留資格認定証明書の交付の遅れにより、4月11日の入学式には中国入留学生の一部が出席できませんでした。今年度は、編入学生を含め、97人の留學生を迎えることになりました。

留學生歓迎会

5月23日に萩国際大学で、新入生歓迎会が開催され、今年入学の留學生、日本人学生をはじめ、約150人の学生が参加し、楽しいひとときを過ごしました。

会では、まず第一部として入学式後に来萩した留學生の歓迎式が行われました。

第二部では、学生組織である学生会による歓迎パーティーが開催されました。パーティーではサークルの紹介、二胡や中国琴等のミニコンサート、テコンドー・ゴリョジャンと瓦割り、お楽しみ抽選会などが行われました。

留學生に自転車

4月に、萩自転車小売商組合や市民の方々から留學生に45台の古自転車の寄贈がありました。

しかし、全員には自転車が行き渡っておらず、通学や日常生活で非常に不便を感じていましたが、市内の団体が「留學生に自転車を贈る会」を結成し、6月15日に留學生に自転車を寄贈されました。



自転車を受け取った留學生たち

学術交流協定3校目

萩国際大学は、6月15日に中国の大連外国語学院と学術交流協定を結びました。この協定は、両大学の教育・学術面での協力を目的とし、今後、学生や教職員の交流、共同研究、学術情報の交換など交流の促進を図ります。

萩国際大学の学術交流協定の締結は、韓国の蔚山大学校、漢城大学に続き、大連外国語学院で3校目となりました。

歓迎 萩国際大学新入生！中国人留學生にインタビュー

国際情報学部経営情報学科

田中 勇さん（22歳）

僕は遼寧省開原市出身です。僕は中国の大学で日本語を専攻しました。日本の文化や風俗に興味を持ち、もっと勉強したかった。日本ではいろいろな人と出会い、将来の人生を豊かにしようと思い、この大学を選びました。よく勉強して、将来の人生のために一生懸命努力したい。



藤さん

田さん

国際情報学部経営情報学科

藤 文暉さん（28歳）

私は大連市出身です。中国の大学では専攻は日本語だけでした。卒業後、日系企業に務めたが、経営などにも興味を持ち、日本語をもっと勉強したくて萩国際大学に来ました。将来はプロの通訳になりたい。一生懸命勉強して、みんなの期待にそえるよう頑張ります。



からたち会

また、福引抽選会では、当選番号を手にとり、駆け上がる嬉しそうな皆さんの顔が印象的でした。

会は、田中大夫県議会議員の乾杯で始まり、参加者は、土木科56年卒の内田さんのギターの弾き語りやフィリピンダンスなどを楽しんでいました。

総会後は恒例の懇親会で、藤本正夫校長が、「昨年は、ラグビー、陸上、少林寺拳法が全国大会出場しました。これからも期待してくだされ」と挨拶しました。

5月12日に、からたち会の総会が、萩工業高等学校体育館で行われました。からたち会総会は毎年、萩市内の高等学校の同窓会本部総会としては一番早い開催で、この時期に行われています。

からたち会総会



光塩学院関東支部同窓会

萩光塩学院関東支部同窓会

萩光塩学院関東支部同窓会が、5月27日曜日の午前11時から東京のメルセス会修道院にて開催されました。

当日は、朝から激しい雨が降ったにもかかわらず、65名が出席し「光塩ファミリー」の絆を感じてきました。

金田和子関東支部同窓会長の挨拶にはじまり、各テーブルでは1年ぶりの再会を喜び合い、萩で過ごした青春時代の思い出話に花を咲かせていました。懐かしい「萩の言葉」に心が和みました。

あつという間に楽しい時間は過ぎ、最後に校歌の合唱と記念撮影をして、来年の再会を約束し、散会となりました。

藤田典子（27年生）

関西からたち会総会

関西からたち会総会が6月16日、来賓約30名の参加により、大阪市北区の民芸茶屋「豆狸」で開催されました。

まず、出羽会長が「ラグビー部の全国大会出場については、ご協力いただきありがとうございます。また、山口では今年はさらに博があります。今回は景品にキップを10枚買ったので当たった人は、ぜひ行ってください」と挨拶した後、会計報告・役員改選が行われ、役員全員の留任が承認されました。

続いて、からたち会本部の山根満明会長、萩工業高等学校の萩原洋行教諭、大阪指月会の中山光夫副会長など、来賓からの挨拶がありました。



関西からたち会総会

懇親会では高校時代の話や、萩の話題、萩の特産品が当たる福引きなどで盛り上がりしました。最後に、全員で校歌を斉唱、再会を約束し会場を後にしました。

下関巴城会総会

平成13年度下関巴城会総会が6月23日、下関東急インホテルで開



下関巴城会総会

催されました。益田宗親会長の挨拶に続き、山縣同窓会長、内藤萩高等学校教頭、菊池たちはな会下関支部会長、加藤山口県会議員、中村宇都志都岐会会長等の祝辞がありました。

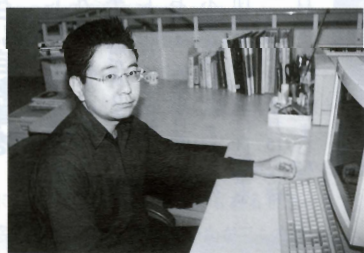
Web come to Hagi

萩関係のホームページ紹介

山口県立萩美術館・浦上記念館

【URL】 <http://www.hum.pref.yamaguchi.jp>

西日本有数の浮世絵・陶磁器コレクションで知られる、山口県立萩美術館・浦上記念館が、全所蔵作品の画像やデータを公開しています。公開されているのは、浮世絵が写楽、北斎、歌麿、広重らの作品約4800点、陶磁器が中国陶磁、朝鮮陶磁の約400点。簡単な操作で、お目当ての作品を検索できます。



□1年前から作業を進めてきた藤村忠範学芸員の話

「浮世絵は保存の関係上、それぞれの作品を1年間で1か月しか展示できません。そのため、ファンがいつでも、どこでも、どの作品でも気軽に観ることができるよう、システムを立ち上げました。多くの方に美術館の全体像を知ってもらいたい。専門家の研究にも利用してもらえれば」

橋

萩とあなたを結ぶ
リレーエッセイ

私の宝物

関西からたち会会長

出羽 修さん



関西からたち会総会で挨拶する出羽さん

土が勿体ない程に肉付きが厚く重い。その母が晩年には形見分けだと言って作品を幾つくれた。その作品棚を物色していて、父が大切にしていた翁の置物を発見し、これも貰う事にした。

そして兄に報告すると「なんぼう探しても無かったが、何処にあった」と言う。そこで返そうとすると、「いや、お前が貰うたんやから、ええ」と、しかし残念そうな顔ではあった。以後この翁は私の宝物となったのである。

翁の顔を眺めていると、角度によつて実に微笑ましい優しい顔であつたり、少し厳しい顔であつたりする。何だか私の行いが監視されているようで、帰宅して爺様の顔を覗いた時、その顔が笑つて見えるとホツとする。

その作柄は実にリアルで名のある匠の作品と思われるのだが、この作品には銘が無い。故に作品の年代や作者が知りなくなり、昨年、帰省を機会に当代萩焼鑑定第一人者と言われる山口県立美術館の榎本副館長に鑑みて、次のような評価を戴いた。

①萩焼で小畑の土を使用したものである。

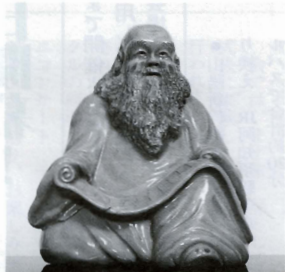
②江戸末期頃の置物としてシシ等が多く作られたが、老人の置物は比較的少ない、また中国のものを模したものでない。

③置物の内側にも釉薬が施してあり、非常に丁寧な作品である。(普通は見えない裏側にまで釉薬は施さない)

④従つて作者は不明であるが、かなりの達人、プロの作品と思われる。

⑤出来は非常に良い。このような作品は見つた事が無く、明治から大正の匂いが強い。そして更に父が求めた原田茶店を尋ねたが、当時のご主人は亡くなられていて窯元など、そのルーツは判らないとの事であつた。

しかし、榎本副館長から戴いた評価により、私には更なる大切な宝物となった。



宝物の古萩焼の置物

20世紀に残した 萩の足跡

サンフランシスコ講和条約が発効し、日本の主権が回復したのは、この写真のつい1年前だが、すでに食糧難の影は見られない。可愛い赤ちゃんにもお母さんの表情にもゆとりがある。赤ちゃんコンクールは前年あたりから全国各地で開催されるようになったらしい。萩でのこうした赤ちゃん大会はその後、昭和30年代の後半まで続き、表彰式には当時の菊屋嘉十郎市長も呼んでいたという。乳幼児の健やかな成長を願う催しは、日本の高度成長がピークを迎えるころ姿を消したわけだ。当時と比べ、子どもたちの体位は大きく向上したが、体力は低下した部分もある。このころのすこやかさはどうか。写真の会場は新築3年目の萩市民館小講堂。



赤ん坊大会萩地区予選の風景(昭和28年、江向)

このコーナーでは、大正、昭和初期の萩の風景を撮影した写真を募集しています。(連絡先 萩市広報課 0838・25・3178)
このコーナーで紹介した写真は、萩市ホームページ (<http://www.urban.ne.jp/home/hagicity/>)でも紹介しています。

山口きらら博 7月14日開幕!

山口きらら博は、阿知須町きらら浜で7月14日から9月30日まで開催されます。
期間中の7月22日は、「萩市の日」として、会場内の施設を活用し、萩を全国にPRします。
当日は、21団体、約900人が萩市から参加しますので、ぜひ会場にお越しください。

「命爆めく未来へ」をテーマに山口きらら博が、開催されます。会場に7つのゾーンを設け、各ゾーンでは開催期間中、盛りだくさんのイベントが行われます。

テーマゾーンのスーパーテマ館では、人間力が生み出す壮大な冒険物語がドームを揺るがす山本寛斎プロデュースのスーパーライプショー「やまぐち元気伝説」が、毎日(平日2回、土・日・祝日3回)開催されます。

スポーツゾーンの海上エリアでは毎日夜8時から、1998年のサッカーワールドカップの開閉会式の演出家イヴ・ペパンがプロ

デュースする「きららスタライトファンタジー」が開催されます。ウォータースクリーンと巨大な球体へ投影される迫力ある映像、レーザー、花火、火炎などを駆使した幻想的なショーが、展開されます。

そのほかにも、「夢」の町があるアミューズメントゾーン、市町村館のあるやまぐちゾーンなどがあり、また自然や未来をテーマにした楽しいアトラクションなど、盛りだくさんの内容となっています。

※会場へのアクセス

【車で来場する場合】

●中国縦貫自動車道小郡ICから国道9号線、国道2号線を通って約15分

●山陽自動車道山口南ICから国道2号線を通って約15分

●中国縦貫自動車道下関JCTより山陽自動車道宇部下関線經由山口宇部有料道路阿知須ICから約5分

【公共交通機関を利用する場合】

●山陽新幹線小郡駅から直通バスで約10分

●山陽新幹線小郡駅で宇部線に乗り換え、JR阿知須駅下車、シャトルバスで合計約20分

●山口宇部空港から直通バスで約15分

「萩市の日」は

7月22日です!

山口きらら博「萩市の日」の内容は次のとおりです。当日は、会場内の施設を活用して萩市の伝統文化などを披露し、全国に向けて萩市をPRします。

参加するのは、平安古や古萩町の「大名行列」、県指定無形民俗文化財の「住吉神社お船謡」、山田木間、香川津、大井市場の「神楽舞」、越ヶ浜の「昇殿巫女の舞」など郷土芸能を伝承している団体や、明倫小学校のマーチングキッズ、少年少女合唱団などです。

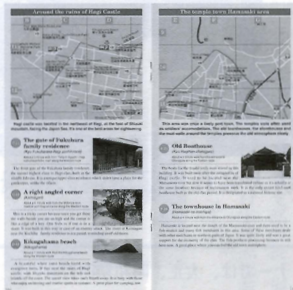
また、さくら組によるミュージカルダンス「維新の風」の上演など萩市の現代的な文化活動も紹介します。

萩市が英語版の観光パンフを発行



萩市が、市内の主要な観光施設の概要を記した英語版の観光パンフレットを作成、発行しました。

これまでも英語版のパンフレットはありましたが、内容が簡単なものであったため、山口きらら博の開催による外国人観光客の増加を見込み、大幅に内容を改めました。パンフレットは、全30ページ、市内を運行している「萩循環ま



「るバス」のルートに沿って、各観光施設をカラー写真で紹介、解説しています。1部200円で、萩市観光課、萩市観光協会、萩観光案内所で販売しています。

JR山の手線に 萩市の観光ポスター

東京都内のJR山の手線に、5月17日から6月1日まで、萩市をはじめ山口県の観光地や山口きらら博のポスターが掲示されました。

都内の皆さんのなかには、通勤、通学の途中などでポスターを見かけられた方もいると思います。離れて感じるふるさと・萩は、いかがでしたか。



同窓会などでの帰省に

お得な情報です！

一帰ってこいよ！ふるさと事業—

石見空港利用拡大促進協議会では、萩市出身者と萩市在住者の交流促進を図るため、萩市出身者が同窓会、同郷会、親族会などで帰省する際の格安旅行メニューを売り出しています。

これらの用事で帰省するときは、ぜひご利用ください。また、同窓会の幹事さんは、この時期を逃さず、計画してください。

実施期間 平成13年9月30日まで（8/5～8/19を除く）

対象者 関西・関東在住の萩市出身者で同窓会、同郷会、親族会などで帰省する方

旅行代金 往復（大阪／東京～石見空港）の航空運賃＋萩観光ホテル1泊（朝食付）

●大阪発19,800円～ ●東京発24,800円～

催行条件 同窓会、同郷会、親族会などの幹事さんは、出発の21日前までに5人以上で申し込んでください。

申し込み先 全日空トラベル株式会社大阪支店（06・6377・0810）

問い合わせ 石見空港利用拡大促進協議会（0856・23・0990）

花江茶亭の茅葺屋根が 新しくなりました



花江茶亭と屋根を修理した茅葺職人

花江茶亭は、安政の初め（1854）ごろ、第13代藩主毛利敬親が橋本川沿いにあった花江御殿内に造った煎茶席の茶室です。明治22年（1889）ごろに指月公園の現在地に移築され、昭和48年（1973）に萩市の有形文化財に指定されました。建物は、桁行6.8m、梁間3.6m、入母屋造、茅葺で、4畳半の茶室は、煎茶席特有の開放的なものとなっています。

近年、茅葺根の磨耗が著しくなってきたため、萩市が補修を行いました。茅葺は、数年ごとに補修する必要がありますが、萩市内には茅葺職人がおらず、修理に苦労しています。全国的にも茅葺職人が少なく、茅材の確保、後継者の育成が問題になっています。

帰省の際には、ぜひ一度、新しくなった茅葺屋根を見て、お殿様の茶室で抹茶を一服いただいてみてはいかがでしょうか。

萩市に大型客船の入港が、相次いでいます。

5月から6月にかけて、パナマ船籍の「クリッパリオデッセイ号」が4回萩港に入港し、9月にも1回入港する予定です。また6月5日には、郵船クルーズ（東京）の豪華客船「飛鳥」が入港しました。

「クリッパリオデッセイ号」は、ハーバード大学やスタンフォード大学の同窓生、アメリカエージェンツ募集のツアー参加者など、欧米人が乗客で、日本文化に触れようと、萩に立ち寄りました。乗客

菊ヶ浜沖に停泊する大型客船「飛鳥」



萩観光は今、クルーズ時代！

大型客船「飛鳥」「クリッパリオデッセイ号」入港

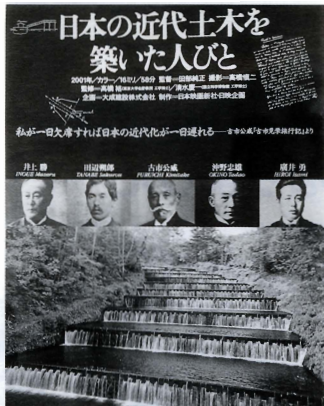
は、城下町や浮世絵で有名な山口県立萩美術館・浦上記念館などを見物しました。

「飛鳥」は、6月5日に日本1周クルーズの最終寄港地として、入港しました。午前8時半からは、道の駅「萩シーマート」で萩市主催の歓迎セレモニーがありました。上陸した乗客は、市内観光、萩焼体験などを楽しみ、夕方には神戸にむけて出港しました。

船長の幡野保裕さんは、「萩の港は箱庭のようで、とても美しい」と、感想を話していました。



「クリッパリオデッセイ号」の乗客の皆さん



井上勝を描いた映画「日本の近代土木を築いた人びと」が大賞受賞

日本近代化の歩みを土木を通して振り返ったドキュメンタリー映画「日本の近代土木を築いた人びと」(企画・大成建設)が、5月に第39回日本産業映画・ビデオコンクールで大賞作品に選ばれました。

内容は、近代国家の道を歩み始めた明治日本の、国土建設に尽くした技術者を紹介。萩市出身の井上勝は、密航してイギリスに渡り土木を学んで帰国、逢坂山トンネルなど数々の工事を進め「鉄道の父」と呼ばれました。その他、田辺朔郎・古市公威・沖野忠雄・廣井勇などを紹介。

1時間近い映像は、国土建設の基礎を築き、産業発展の道を開いた若き技術者たちの偉業を振り返り、力強い日本の歩みが始まったことを実証しています。

●監督＝田部純正／16ミリ／58分
問い合わせ 日本映画新社 (03・3442・7251)

下瀬信雄写真館

～写真集「萩の日々」から～



雨上がりの黄色い傘—船津—

萩市瓦町の写真家下瀬信雄さん(萩高17期卒)の写真集。日本図書館協会選定図書。

定価 4500円、ただしネットワーク会員は消費税込みで3000円、送料サービス

申し込み・問い合わせ シモセスタジオ (0838・22・0129)



三輪華子さん

女性陶芸家・三輪華子さん(28歳)の初めての個展が東京・銀座の画廊で開かれました。祖父は人間国宝、父は革新的陶芸家とあって、注目度は抜群。

東京で華々しくデビュー

「今回の個展の見どころは？」

黒いハスの葉は、五千年前に中国で考案されたという「黒陶」という技法で焼成中に松の葉でいぶし焼きたもの。釉薬を使わないことで、萩の土の柔らかさ、素朴な肌合いを表現しました。

「タイトルの「妙」の意味は？」

ハスには原始の魅力、官能的な美しさがある、私にとっては特別な存在。自然界の神秘性を表現

しました。

「祖父・三輪休雪、父・龍作さんの影響は？」

ブレッシャーは感じません。祖父、父の存在は励みになるし、子どもの頃から作品を見て育ったから影響はあると思うし、茶陶にも興味があります。

「個展を終えての感想は？」

画廊始まって以来の入場者でした。ふだん一人で制作しているので、多くの人と作品を通して交流し、素晴らしさを感じました。若い人からお年寄りまで、見に来た人たちがエネルギーを感じました。違分野の人と接することは素晴らしい。

「これからの予定は？」

具体的な構想を練って、これから



らが勝負と思っています。実験的、伝統的な手法も試してみたい。

西洋芸術を中心に勉強したので、萩の土地に根ざした美意識の中で育まれた、独自の感性を大切にしていきたい。

同じものを継承するのではなく、新しい表現を探っていきたい。

「これからの夢は？」

なるべく長生きをして、宇宙に行きたい。その体験を作品に活かしていきたい。

●プロフィール

萩市、三輪窯に生まれる。萩光塩学院高等学校卒業、95年多摩美術大学彫刻科卒業。イギリスのウェールズ大でインタラクティブアートを学び、ロンドン大スレード美術学校大学院を中退し、99年帰国、萩を拠点に作家活動を開始。今年6月東京で初個展「黒陶彩 妙」発表



「縄文秘酒」を手にする松野さん

酒が好きな蔵元、萩焼作家、料理人の3人が協力し、にこり酒「縄文秘酒」(4合)を造りました。醸造は、田万川町の澄川酒造場の社長・澄川隆俊さん(54歳)が担当、古代米「赤米」を原料に造りました。

器は、萩焼作家・松野龍司さん(49歳)が担当、「真黒な石の塊から赤い酒が出てきたら面白い」と、黒く鉄分の多い島根県土を使い、縄文時代の矢じりをイメージして焼き上げました。

器を入れる箱の「縄文秘酒」の文字は、割烹「千代」の料理人・河村剛太郎さん(35歳)が担当、味わいのある文字を書き上げました。

このにこり酒は淡いピンク色。米の色をできるだけ残すために玄米に近い状態で醸造したといえます。「冷やして飲むのがお勧め。牛乳で割ってもいい」と澄川さん。

松野さんは「異業種交流から面白い酒ができた。口当たりがよく、女性にも好まれる味。われわれの祖先も夜ごころんな酒を飲んでいたかもしれない。ぜひ、太古のロマンを味わってほしい」、河村さんは「この酒にあう料理を考えて盛り上げていきたい」と話していました。

真黒な石の塊から

赤い酒が出てきたら面白い！

異業種3人の合作「縄文秘酒」

あなたも太古のロマンを感じながら「縄文秘酒」を味わってみませんか？

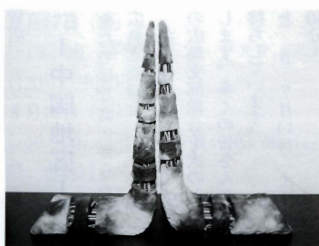
価格 5000円(税別)

販売 500本限定で、7月1日から萩市内の有力酒店問い合わせ

●澄川酒造場(08387・4・0001)

●緑栄齋・松野龍司(0838・25・2088)

世界陶磁器エキスポ2001に萩焼も出品！



松野龍司さんの展覧作品

●日本出展館
金子司、小久保凌雲、納富晋、松野龍司

●世界現代陶磁展
三輪龍作(続・卑弥呼の書)2点

とき 8月10日～10月28日
ところ 韓国・利川ほか
入場料 1万ウォン(約1000円)

●「世界陶磁器エキスポ2001」概要
萩市からも萩焼を出品し、世界に萩焼文化を発信します。

「土で作る未来」をテーマに、韓国で「世界陶磁器エキスポ2001」が開催されます。このエキスポは、世界中の人々の文化の祭典として、世界80か国以上から作品が出品され、500万人を超える観客が訪れる国際的陶磁イベントです。

萩市からも萩焼を出品し、世界に萩焼文化を発信します。

山口県立萩美術館・浦上記念館だより

山口きらら博・開催記念特別展

色彩の遊び メルツバッハ

1・コレクション展

7月28日(土)～9月28日(金)



アンリ・マティス「コリウールの室内(昼寝)」

ゴッホと浮世絵 タンギー爺さん

8月22日(水)～9月30日(日)

19世紀後半のヨーロッパでは、多くの芸術家たちが日本の美術工芸品の影響を受けました。本展では、ゴッホの代表作「タンギー爺さん」とその肖像の背景に描かれるものとなった浮世絵を展示し、浮世絵がゴッホに与えた影響とジャポニスムについて振り返ります。

観覧料 一般1300円
※9月29日、30日は一般1000円。

休館 会期中は無休

開館時間 午前8時30分～午後5時30分(入館は午後5時まで)
その他 午前9時までにこ来館の方は、当日一般の団体料金にて観覧できます。



情報アラカルト

ー関東地区ー

◆第3回益子陶芸展 加守田章
二賞・濱田庄司賞・受賞者展
昨年第3回の陶芸展で、国内外
から約700点の中から金子信彦
の「フラワーFLOWER」が加守田
賞を受賞。

とき 8月4日(土)～9月9
日(日)
ところ 栃木県芳賀郡益子町 陶
芸メッセ・益子 陶芸館

◆作陶50周年記念野坂康起展
萩焼作家・野坂康起の作品が展
示されます。

とき 9月4日(火)～10日
(月)

ところ 東京都中央区日本橋室町
日本橋三越美術画廊

◆白き花冠展
萩焼作家・三輪和彦の作品が展
示されます。

とき 9月13日(木)～18日
(火)
ところ 横浜市西区南幸 横浜高
島屋

ー東海地区ー

◆東海山口県人会総会

東海山口県人会の総会を次のと
おり開催します。多くの皆さんの

参加をお待ちしています。

とき 7月7日(土) 正午～
ところ 名古屋市中区 厚生年金会館

◆兼田佳炎茶陶展
萩焼作家・兼田佳炎の作品が展
示されます。

とき 7月31日(火)～8月6
日(月)
ところ 新潟市 新潟三越

◆白き花冠展
萩焼作家・三輪和彦の作品が展
示されます。

とき 9月26日(水)～10月2
日(火)
ところ 名古屋市中村区 名古屋
高島屋

ー関西地区ー

◆白き花冠展

萩焼作家・三輪和彦の作品が展
示されます。

とき 8月29日(水)～9月4
日(火)
ところ 大阪府中央区難波 大阪
高島屋

◆岡田仙舟・裕 親子展

萩焼作家・岡田仙舟、岡田裕の
作品が展示されます。

とき 9月20日(木)～26日
(水)
ところ 大阪府北区梅田 阪神百

貨店

ー中国地区ー

◆たちばな会・からたち会合同
広島支部総会

たちばな会とからたち会の合同
の広島支部総会を次のとおり開催
します。多くの皆さんの参加をお
待ちしています。

とき 7月14日(土) 午後6時
30分～
ところ 広島市南区 ホテルセン
チュリー広島21

◆広島指月会総会

広島指月会の総会を次のとおり
開催します。多くの皆さんの参加
をお待ちしています。

とき 9月15日(祝) 午後4時
30分～
ところ 広島市 ホテルグランヴ
イア広島

◆萩焼5人展

萩焼作家・金子信彦、納富島雲、
納富晋、小田光治、田中克利の作
品が展示されます。

とき 8月1日(水)～28日
(火)
ところ 広島市中区 和楽堂

ー九州地区ー

◆九州指月会

九州指月会を次のとおり開催し
ます。多くの皆さんの参加をお待
ちしています。

とき 7月22日(日) 午前11時

45分

ところ 福岡市中央区大名 西鉄
グランドホテル

◆からたち会九州支部総会
からたち会九州支部の総会を次
のとおり開催します。多くの皆さ
んの参加をお待ちしています。

とき 7月28日(土) 午後3時～
ところ 福岡市博多区 八仙閣

◆西日本精鋭作家展
萩焼作家・中村眞一、吉賀将夫、
田中秀男、田中心司の作品が展示
されます。

とき 9月21日(金)～25日
(火)

ところ 北九州市小倉 西日本総
合展示場(093・511・68
48)

ー山口県関係ー

◆第24回伝統工芸新作展

萩焼作家・三輪休雪、波多野善
藏、厚東建信、岡田裕、野坂康起、
兼田三左衛門、松村拓夫、坂高麗
左衛門、納富晋、兼田佳炎、玉村
登陽、止原伸郎、山影陶道、野坂
和左の作品が展示されます。

とき 7月14日(土)～8月8
日(水)

ところ 阿知須町 きらら博会場

◆きららネット2001展示部
門「陶2001メッセージ」

野坂和左、金子司、濱中史朗、
金子愛、ベアティルペアン、植
草達郎、内村幹雄、中村眞一、秦

奈生美、坂倉和城、森野清和、中
島大輔の作品が展示されます。

とき 9月5日(水)～11日
(火)
ところ 阿知須町 きらら博会場

ー萩市関係ー

◆萩高同窓会八八会

萩高同窓会八八会を次のとおり
開催します。多くの皆さんの参加
をお待ちしています。

とき 8月8日(水) 午後7時～
ところ 萩高等学校体育館

◆山口きらら博協賛「萩陶芸家
協会展」
萩陶芸協会所属の34人が出品し
ます。

とき 7月14日(土)～9月30
日(日)
ところ 萩原 伊藤博文別邸



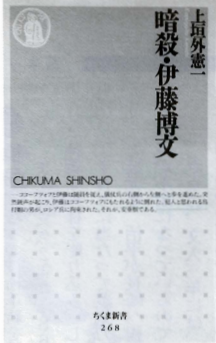
伊藤博文別邸

出版情報

◆「暗殺・伊藤博文」上垣外憲 一著

明治42年10月26日、伊藤博文は満州訪問の途上、ハルビン駅頭で韓国の独立運動家、安重根の銃弾に倒れた。しかし、実は日露戦争後、韓国を巡る複雑な国際情勢の中で、日本国内でも伊藤暗殺計画が取り沙汰されていたのだ。従来取り上げられることのなかった謎に迫るとともに、日韓関係という近代史でも最も難解な問題を浮き彫りにする好著。

定価 680円
出版社 ちくま新書



◆「嘉永五年東北 吉田松陰「東北遊日記」織田久著

やみがたい愛国の情から厳寒の東北を徒歩で旅した松陰の日記を読み解きながら、東北各地の人々の意外な日常を掘り起こす。

定価 1800円
出版社 無明舎出版



◆「吉田松陰起つ」堅山忠夫著

いま日本は松陰を必要とする。弟子を同志として扱い、一人一人に不退転の自信を植えつけ、獄に下ると囚人たちの教育を始め、刑場では首斬り役人にねぎらいの言葉をかけた「ふくいくたる人間性」の謎、人間界の宝を殺した幕府の愚者がのこした教訓等に迫る。

定価 1800円
出版社 叢文社

メールボックス

萩ネットワーク協会に寄せられた会員の方からのお便りをご紹介します。皆さんからのお便りをお待ちしています。

◆萩市のホームページを見て

文化財のページでは知らないことばかりでした。南明寺は小学校の頃遠足で行きましたが、どうしてこんな山奥の寺に？とあの頃は思いました。20年経って納得。帰省すると行きたいと思うのが東光寺。夫のお気に入り入りは松陰神社で

◆「梅の花咲く」田中秀征著

新党さきがけの代表代行を務めた田中秀征・元経済企画庁長官が、幕末の長州藩で騎兵隊を率いて幕府軍を破り、倒幕の流れを決定的にした高杉晋作の生涯を描いた小説。

定価 1700円
出版社 講談社

◆CD「風の島」

宇部市内のフォークグループ「満天堂」による初のCD。昨夏、萩沖の見島でのライブをきっかけに中村彰臣さんが作詞・作曲。8月4日には、見島の夏祭りのコンサートに出演する。

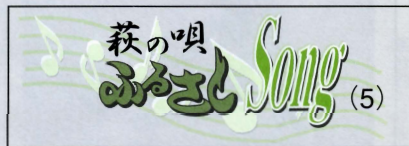
定価 1500円
問い合わせ ライブハウスサザンクロス(0836・35・1818)

(神奈川県 飯倉和子)

す。毎年、必ず行きます。あと行てみたいのが見島です。同級生が「見島からは、台湾だか韓国が見える」と言っていたのが忘れられません。本当でしょうか？

◇大人になって分かることって多いですね。ちなみに、見島からは台湾も韓国も見えないそう

ですが、北灯台からは水平線に太陽が昇って沈む様子が見えます。同じ場所から見えるのは全国でも珍しいそうです。ぜひ、行ってみてください！



今回は民謡の特集。昔からあるおなじみのものから新曲までご紹介します。



ヨイショコシヨパレード

◆ヨイショコシヨ節

文久3年下関攘夷戦に出陣した藩兵600人の間で盛んに歌われた男歌。夏祭りのヨイショコシヨパレードでは萩市民は燃え、サンバにまで発展してしまった名曲。

◆長州音頭

防長新聞社の選定歌。地元の盆踊りでは定番ソングとなった。

◆嫁泣き節

越ヶ浜に伝わる唄。昔は水汲みが大変だったので、嫁がそのつらさに涙を流すというもの。

◆参勤お立

唐樋・御許町を毛槍行列で出発。お江戸まで300里の長道中、参勤交代の道中の情報溢れる唄。

◆エーサ節

南北朝中期以前より三見の三田八幡宮に奉納されてきた鶏關樂という芸能とともに伝承されてきた歴史ある民謡。

◆三見盆歌

同じく三見地区で長く踊りつづけられた曲。昭和38年山口県盆踊り大会で優勝したことがある。

◆シヨンガ工節

見島ではお祝いやめでたい席で一番最初に歌われる。一説には、いろいろ運の良いことがありますが、うんと「諸運がよいシヨンガエ」と呼ばれるようになったとも言われている。

◆萩つばき音頭

萩市観光協会の選定歌。2月の椿まつりではきれいな椿娘達が軽やかに踊り、祭りを盛り上げる。

◆萩はよい町おいでませ

平成10年にあるさつくり盆踊りで初披露された新曲。盆踊り定番にとがなっている。

幕末・維新こぼれ話

万延元年（1860）萩城下江向の藩主別邸南園内で、ガラスの製造が開始されました。そして、1年後の文久元年には、萩でつくられたガラス器が朝廷に献上されるまでになりました。しかし、中嶋治平は旧態依然のガラス製造に飽き足らず、数々の技術革新を試みています。

まず、文久2年（1862）には、切子ガラスに、より繊細な模様を彫り込み、しかも人力も省こうとして、切子細工を行うに当たって蒸気力を利用しようとしています。そのため、万延元年、治平が長崎へ視察に行った際に購入した、蒸気機械が不用になっているので、藩から借り受けようとしています。

さらに、文久3年には、ガラスの品質の改良に挑戦しています。従来のガラスは、成分的に鉛を半分くらい加えた、いわゆる鉛ガラスで、壊れやすく、値段も高価なものでした。そこで、治平は鉛の量を減らし、透明度が高く、しかも硬質なガラスをつくるために、珪砂・ソーダ灰・石灰石が主原料

のソーダガラスをつくらうとします。このソーダガラスは硬質で、化学実験器具としての利用にも事足り、値段も安く消費者も購入しやすいと治平は言っています。

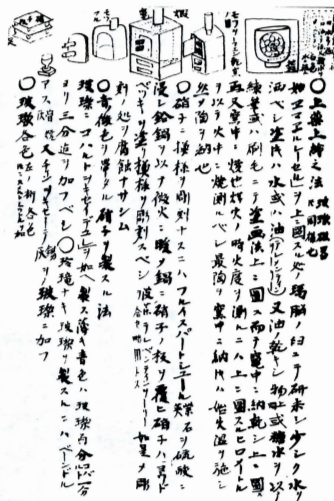
治平は他藩のガラス製造の現状にも言及し、薩摩や福岡・佐賀の諸藩は、基礎化学の研究が進んでおらず、従来の製法でガラスを製造しているため、売れずに藩の利益になっていないと言いつつ切っています。これに対し、萩藩では、ガラスの品質を改良し、消費者に好まれるように、硬質で安価なガラスを大量生産することによって、藩の産物として利益をもたらそうとしたのでした。このように高品質のガラスをつくるには、ガラスの原料や成分だけでなく、ガラス窯の土質やガラスを溶解する坩堝の土質は、たまた燃料の炭の品質に至るまで化学の知識でもって研究することが肝要であると付言しています。

一般的に、鉛ガラスは江戸期から明治前期にかけて主流であったと言われています。一方、ソーダガラスは明治前期以降、盛んに製造されました。治平は、ガラス製造に当たり、化学の研究成果に基づいて、動力を用い、最新の原料を使うことによって、産業として成り立ち、時代の最先端を行くガラスを製造しようとしたのでした。まさに、萩藩のガラス製造は、近代科学技術の端緒をなしたといえることができます。

南園内のガラス製造所で製造されたガラスは、大田嘉七という商人を介して、他藩へ販売されたようです。しかし、具体的な販売先や販売量は明らかではありません。大田嘉七は萩城下片河町に居住していた商人で、薩長交易に携わっていた柿本彦右衛門という薩摩側の人物が、彼の家を来訪していることから、他藩との交易に関わっていた商人にちがいないかもしれません。

現在、ガラスの側面を10面にカットしたグラスが、山口県内のみならず、島根県・石川県、さらに遠く北海道でも20数脚が発見されています。これらのガラスの比重を分析してみると、ほとんど鉛を含んでいないソーダガラスであることが判明しました。まさに、治平が目指した硬質で透明度が高く、しかも大量生産が可能なガラスと言えます。これらのガラスが萩で製造されたという確証は何もありませんが、当時ガラスの製造が行われていない地方で発見されていることから、ひょっとしたら、同型のガラスが北前船を通じ、流通販売されていたとも考えられます。いづれにしても、幕末期、萩で製造されたガラスが、どのように流通販売されたか、その実態を明らかにすることが、今後の課題となります。

萩市郷土博物館 樋口尚樹



ガラス製法覚書（中嶋治平筆）

幕末の科学者中嶋治平(5) ～続・ガラス製造と中嶋治平～

Topics

高田賢三の萩焼陶板が 萩美術館に！



女性を描いたKENZOの陶板

昨年の第4回やまぐち県民文化祭の一環として「陶と生活文化の祭典」が開催され、その中で萩焼400年を記念して、登り窯により萩焼陶板が製作されました。

7月22日まで山口県立萩美術館・浦上記念館で開催中の「萩焼400年展」に併せ、ファッションデザイナーの高田賢三さんをはじめ二井県知事、野村萩市長、人間国宝・三輪休雪さんなど著名人が製作された萩焼陶板が、現在展示されています。

皆さん、ご覧ください。